

平成17年度 全国保健指導担当者会議

日時 平成18年1月13日(金) 13:30~16:30

会場 合同庁舎第5号館(厚生労働省) 低層棟2階講堂

日 程	内 容	講 師	
平成18年1月13日	13:00 ~ 13:30	開場・受付	
	13:30 ~ 13:40	挨拶	厚生労働大臣官房 審議官(健康、医政担当) 岡島 敦子
	13:40 ~ 14:00	「医療制度改革の主旨と保健活動への期待」	厚生労働省大臣官房 審議官(医療保険担当) 宮島 俊彦
	14:00 ~ 14:20	「医療制度改革大綱」を踏まえた今後の生活習慣病対策について	厚生労働省大臣官房 参事官(社会保険・健康担当) 中島 誠
	14:20 ~ 14:25	事例報告の趣旨説明	(厚生労働省健康局総務課保健指導室)
	14:25 ~ 14:45	事例報告① 「みんなですすめよう 地域の健康づくり～北九州市～」	福岡県北九州市 保健福祉局保健医療部健康推進課 畑辺 葉子
	14:45 ~ 15:05	事例報告② 「地域まるごと健康づくり」 40歳代男性の全戸訪問から生活習慣病対策を考える	新潟県阿賀野市 基幹型在宅介護支援センター 関川 清美
	15:05 ~ 15:25	事例報告③ 「国保医療費分析結果から ターゲットをしぼった保健事業へ」	兵庫県尼崎市 市民局市民部国保年金課 野口 緑
	15:25 ~ 16:05	「制度改革を踏まえた保健活動の在り方」	厚生労働省健康局総務課保健指導室 室長 野村 陽子
16:05 ~ 16:30	質疑・応答		

医療制度改革の主旨と保健活動への期待

厚生労働省大臣官房

審議官（医療保険担当）

宮島 俊彦

医療制度改革の主旨と保健活動への期待

1 医療制度改革の3つの柱

①医療費適正化

- ・保健活動
- ・平均在院日数の短縮

②都道府県を軸とする医療保険制度の再編成

- ・政府管掌健康保険 公法人化＝都道府県別の保険料率の設定
- ・国民健康保険 都道府県単位の財政共同事業の拡大
- ・後期高齢者医療制度 都道府県単位の広域連合

*各都道府県の医療提供体制、医療費の格差、健康水準に対応した保険制度

③後期高齢者医療制度の創設

- ・75歳以上の独立の制度
- ・財政運営は都道府県単位の全市町村が加入する広域連合
- ・後期高齢者医療制度にふさわしい診療報酬体系

*75歳以上の老人医療費は国民医療費（33兆円）の3分の1

2 医療費適正化計画

①計画の策定一国の基本方針、計画及び都道府県の適正化計画（5年間）

- ・糖尿病等の患者・予備軍の減少率や平均在院日数の短縮に関する政策目標
- ・政策目標の実現の効果として達成される医療費の見通し

②計画推進のための措置

- ・保険者の保健事業に対する補助、診療報酬体系の見直し、病床転換
- ・健康増進計画、医療計画、介護保健事業支援計画との整合性の確保

③計画達成の検証

- ・中間年、計画達成時の検証→国の支援措置、診療報酬の特例

3 生活習慣病予防の取組

①保険者の役割

- ・被保険者、被扶養者に対する効果的な健診・保健指導を義務付け

②都道府県の役割

- ・健康増進計画で運動、食生活、喫煙等に関する目標を設定
- ・医療費適正化計画で健診・保健指導実施率等の目標を設定

③市町村の役割

- ・国保の生活習慣病の健診・保健指導の充実
- ・生活習慣改善に向けた普及啓発の積極的推進

④国の役割

- ・健診の精度管理
- ・健康支援プログラムの標準化
- ・保険者の健診等に対する助成